

# わかりやすい グローバル分散投資入門

平成21年7月30日  
株式会社SBI証券

【期待リターン(収益率や利回り)と「72のルール」】

**「72のルール」=**

**72 ÷ 運用利回り = 複利運用で投資元本が2倍となる概算年数**

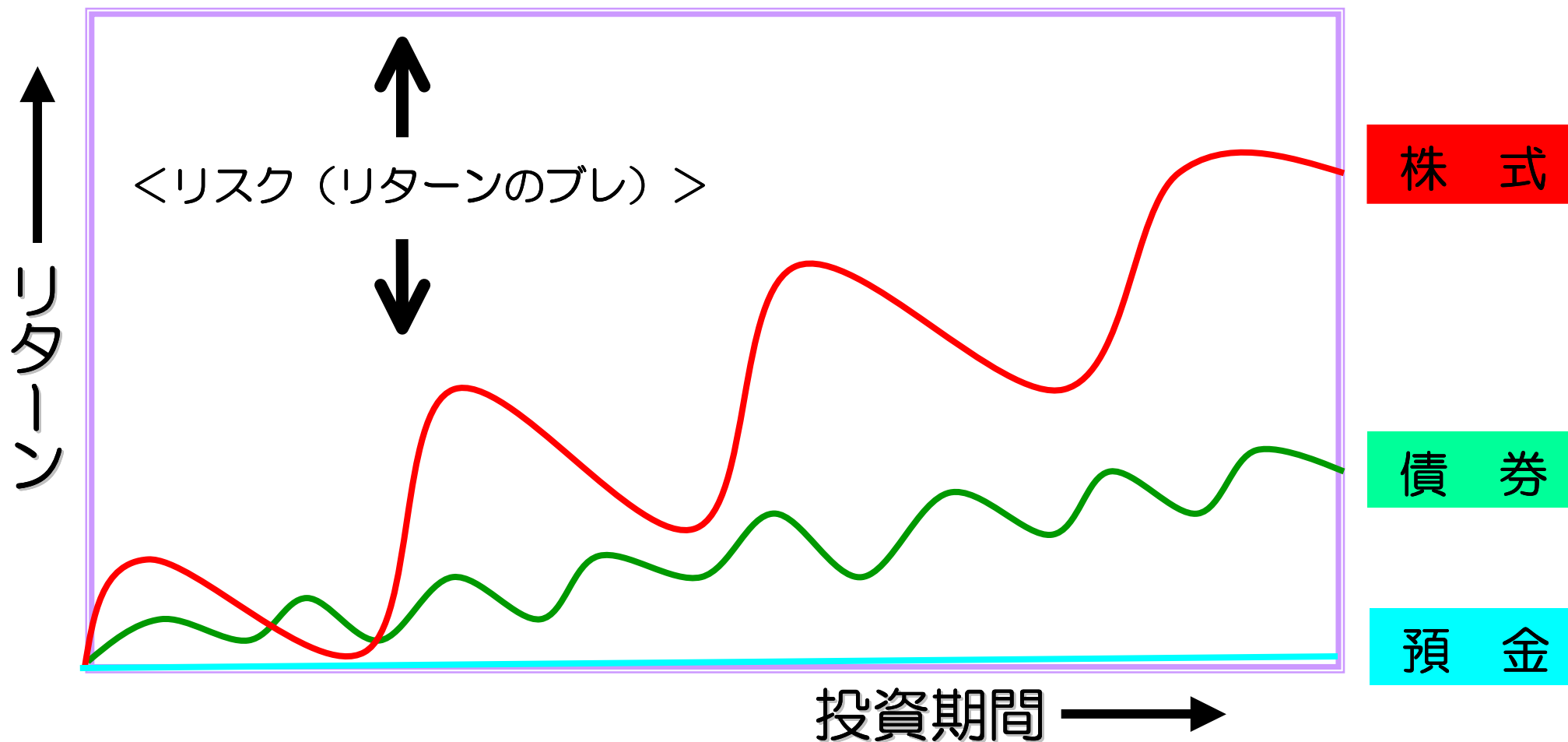
**(例 1) 年1.0%なら、 $72 \div 1.0(\%) = 72(\text{年})$**

**(例 2) 年3.0%なら、 $72 \div 3.0(\%) = 24(\text{年})$**

**(例 3) 年7.2%なら、 $72 \div 7.2(\%) = 10(\text{年})$**

## 2. 投資の基本 — 「リスク」を想定する

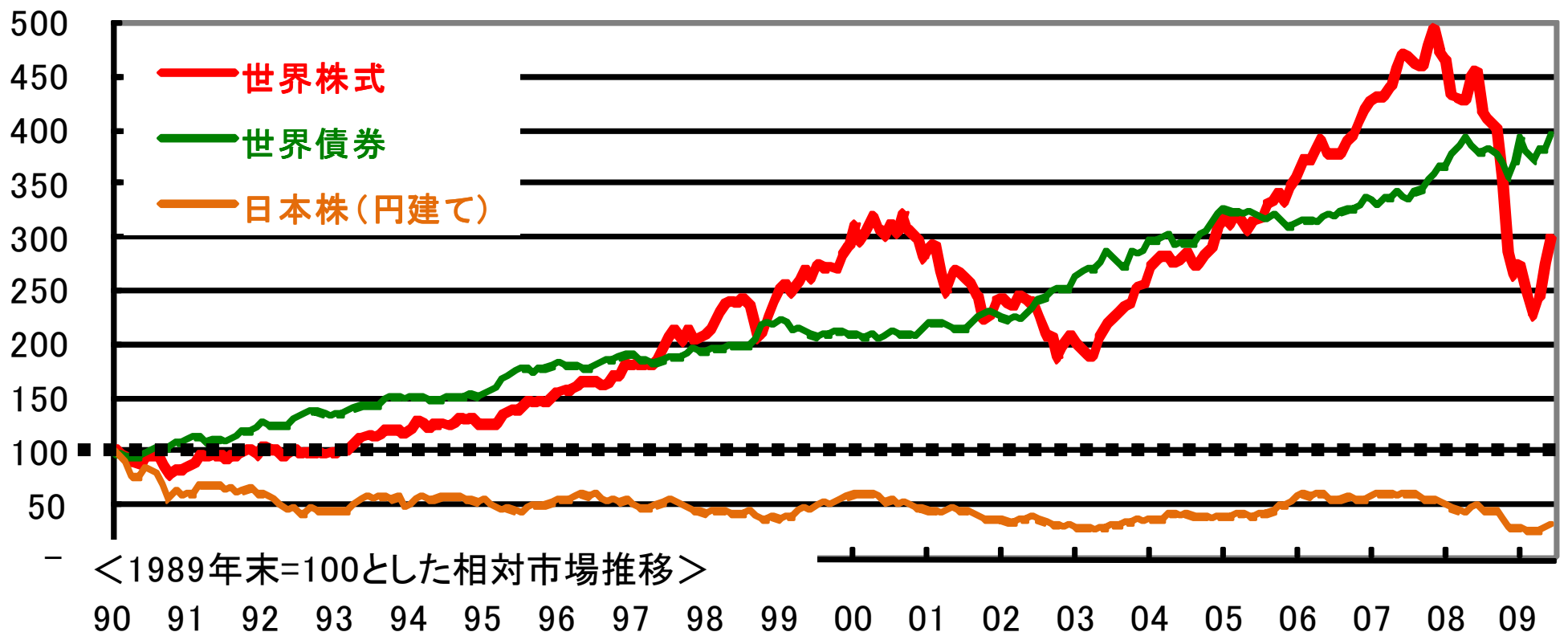
### 【リターンとリスク(リータンのブレ)のトレードオフ】



(注)上記は投資対象のリターンとリスクの度合いについて理解を深めるため作成したイメージ図です。

## 【日本市場と海外市場の市場実績比較】

世界株式、世界債券、日本株式の相対市場推移(1989年末=100)

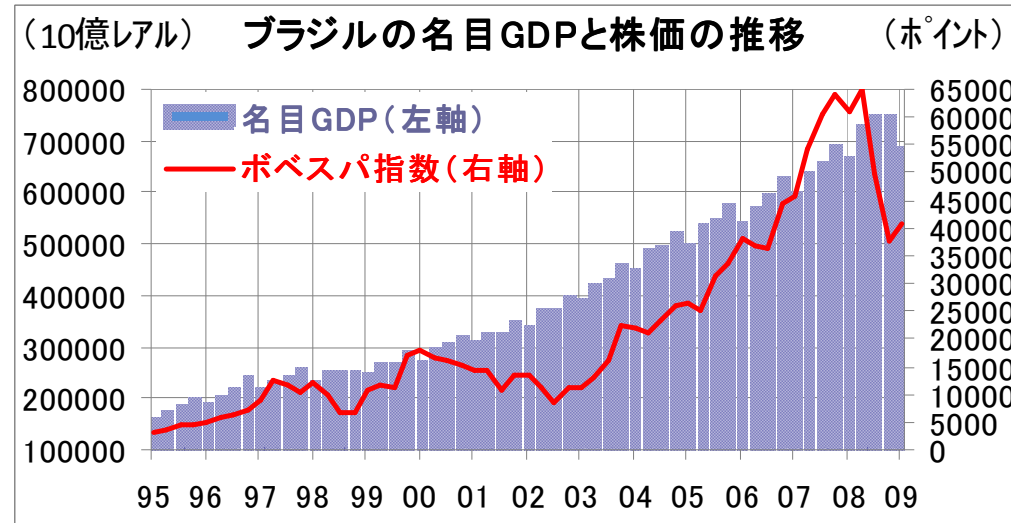
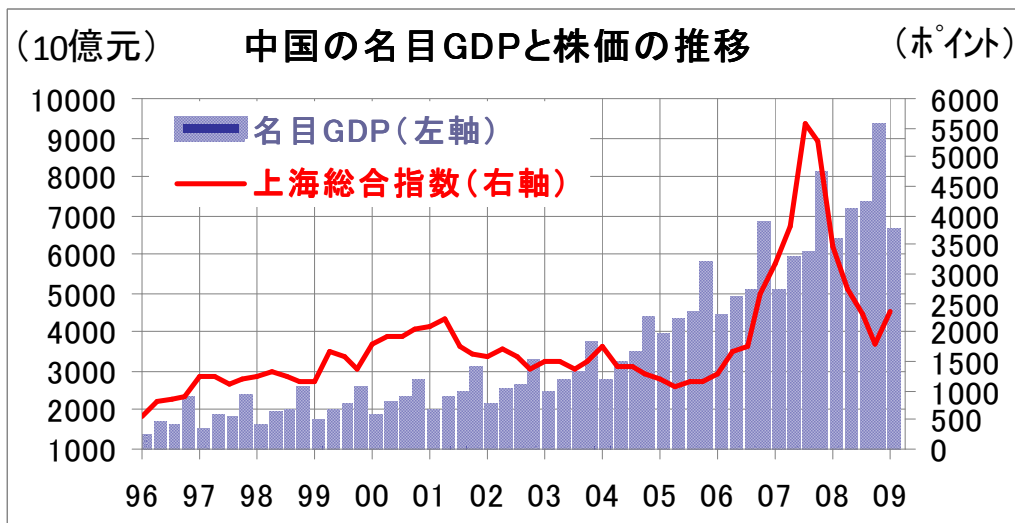
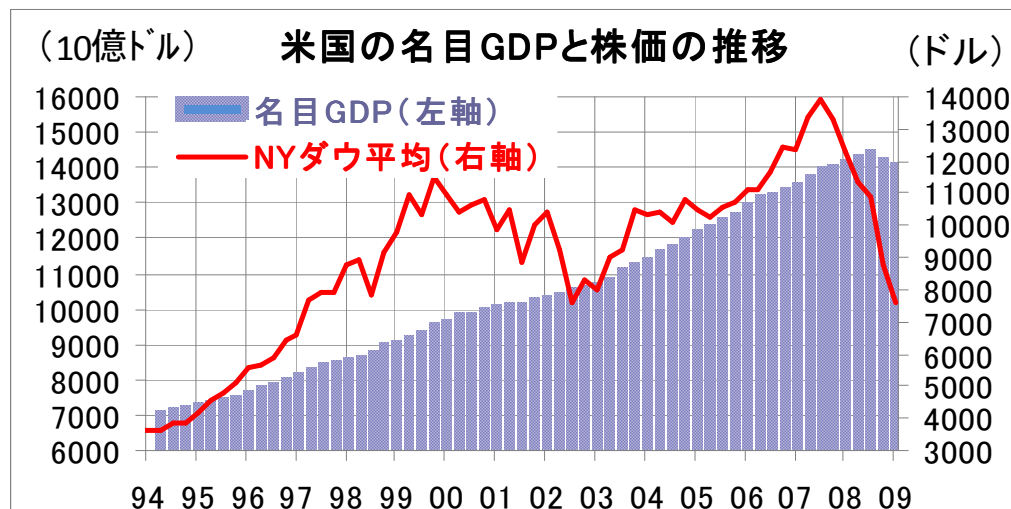
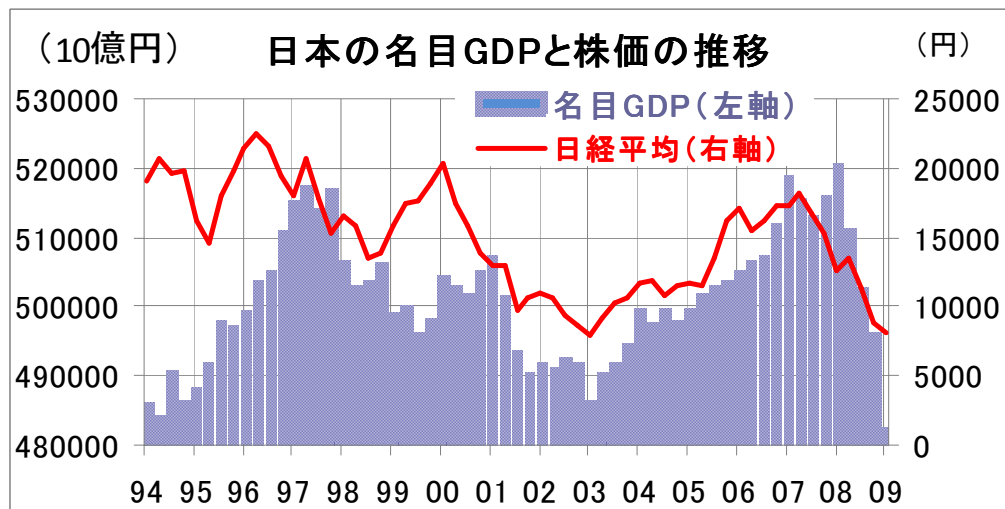


(注) 日本株式=TOPIX(東証株価指数)、世界株式=S&P Developed BMI Index (米ドル建て)、  
 世界債券=J.P.Morgan Global Aggregate Bond Index US\$ Unhedged (米ドル建て)、  
 ※ 上記は過去の市場実績であり、将来のいかなる投資成果も保証するものではありません。

(出所: Bloomberg)

# 4. グローバル投資を考える意義(2)

## 【主要市場の名目GDPトレンドと株価推移】

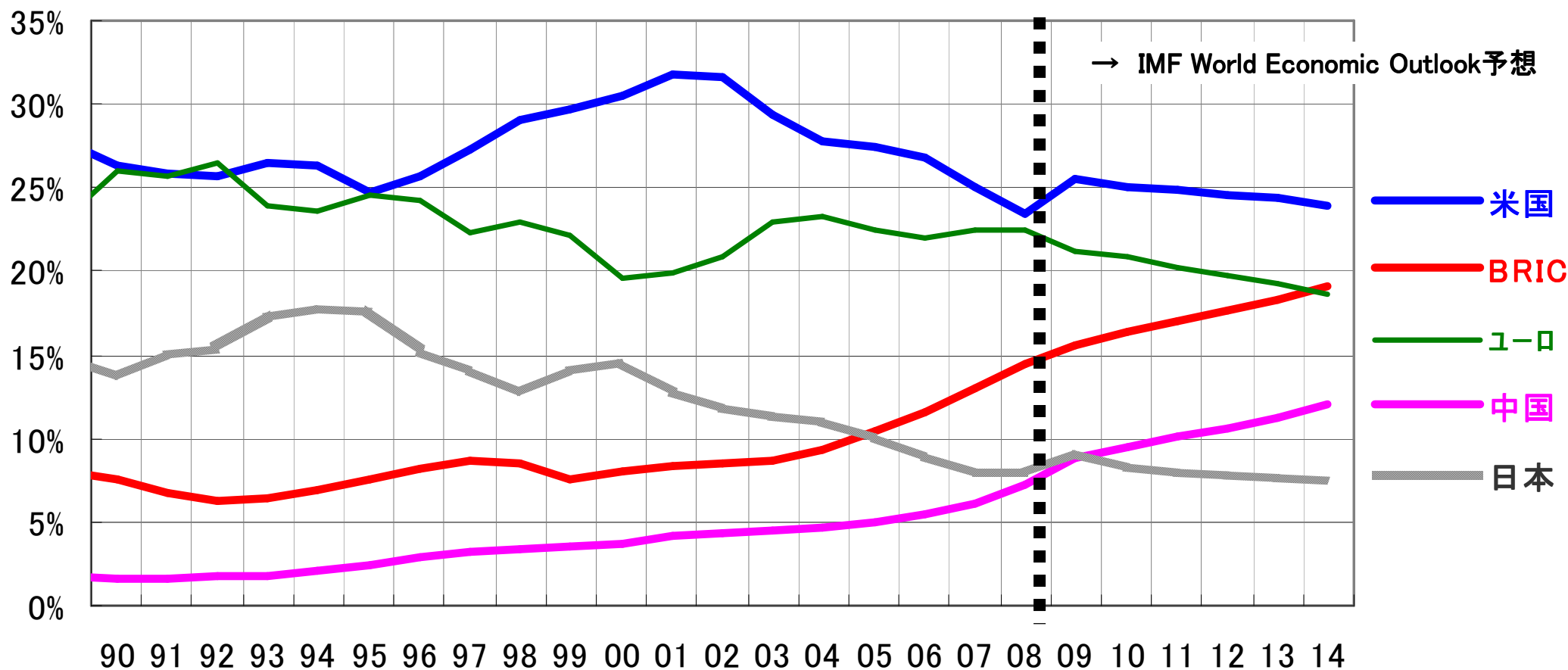


※ 上記は過去の市場実績であり、将来のいかなる投資成果も保証するものではありません。

（出所：Bloomberg）

## 【世界経済におけるGDPの相対勢力変化】

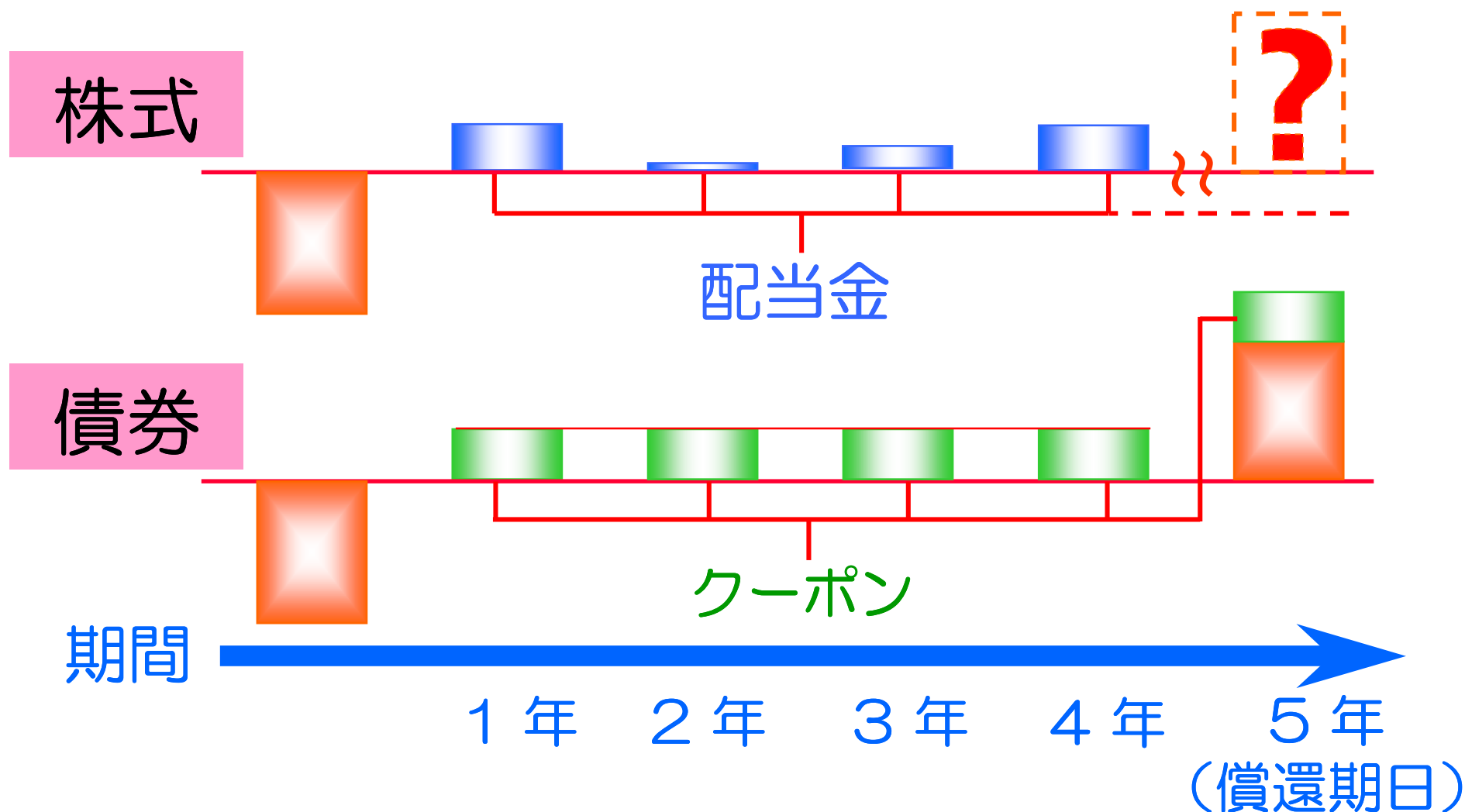
世界のGDPトレンドー地域別ウエイト予想(対全世界:%)



(出所:世界銀行、IMF World Economic Outlook)

## 6. 投資の基本 — 株式と債券の違い

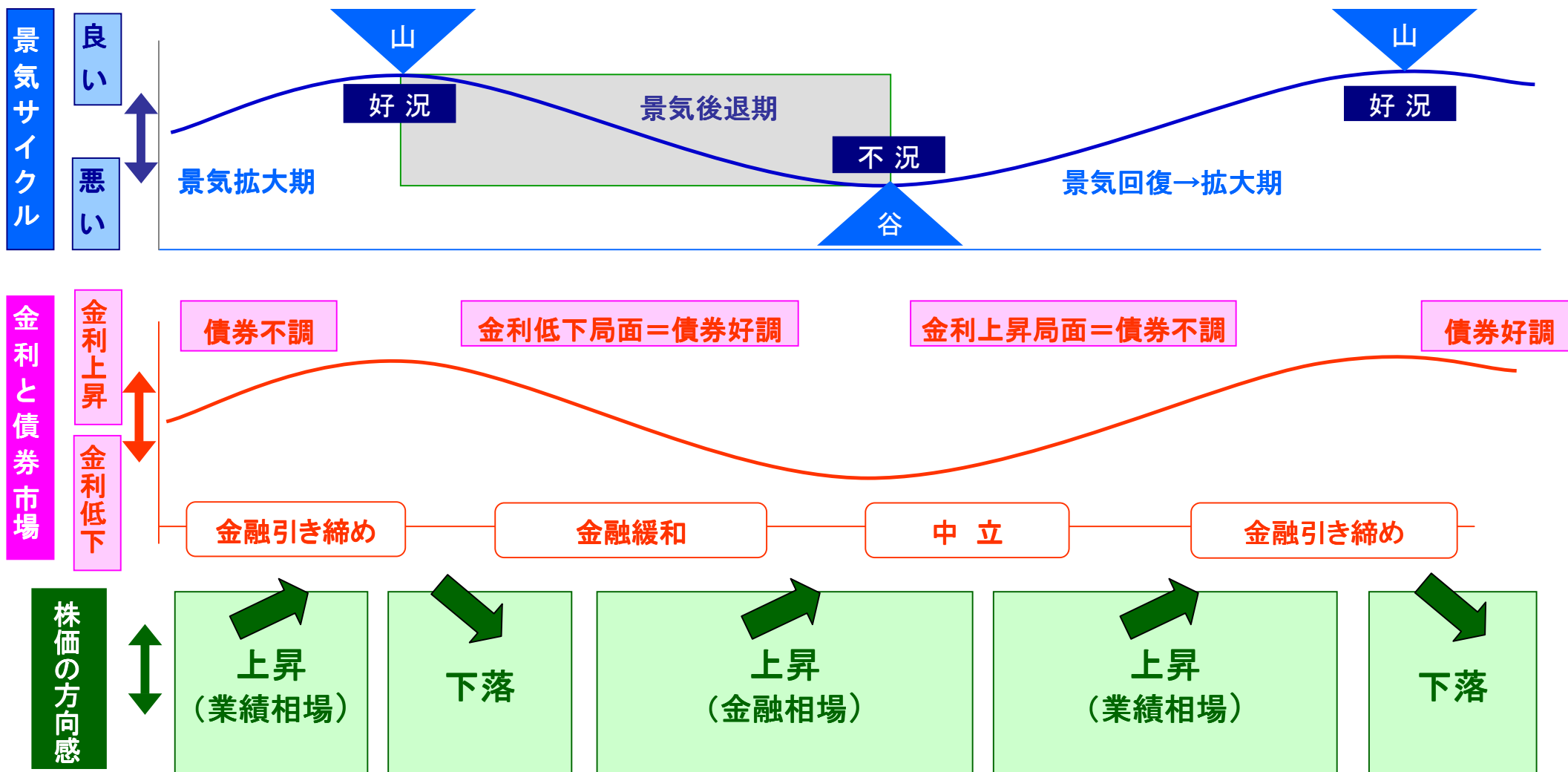
### 【投資家から見たキャッシュフローの相違点】



(注)上記は債券と株式について投資家から見たキャッシュフローの相違点を理解するために作成したものです。

# 7. 投資の基本 — 景気とマーケットのサイクル

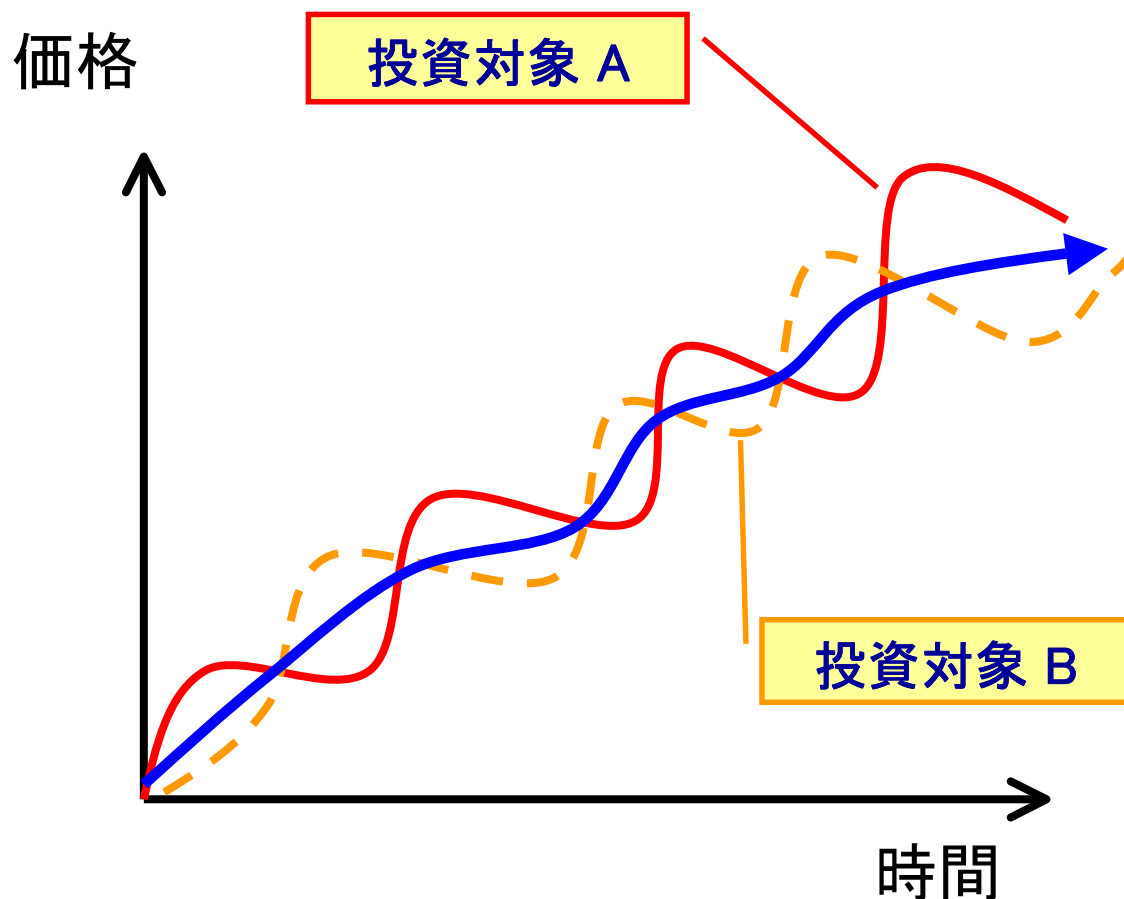
## 【景気循環と株式・債券市場のパフォーマンス例】



(注) 上記は景気・金利・株価の一般的なサイクルを概略したイメージ図です。投資環境や局面により異なる動きを示すこともあります。



### 【リスク分散(抑制)効果のイメージ図】

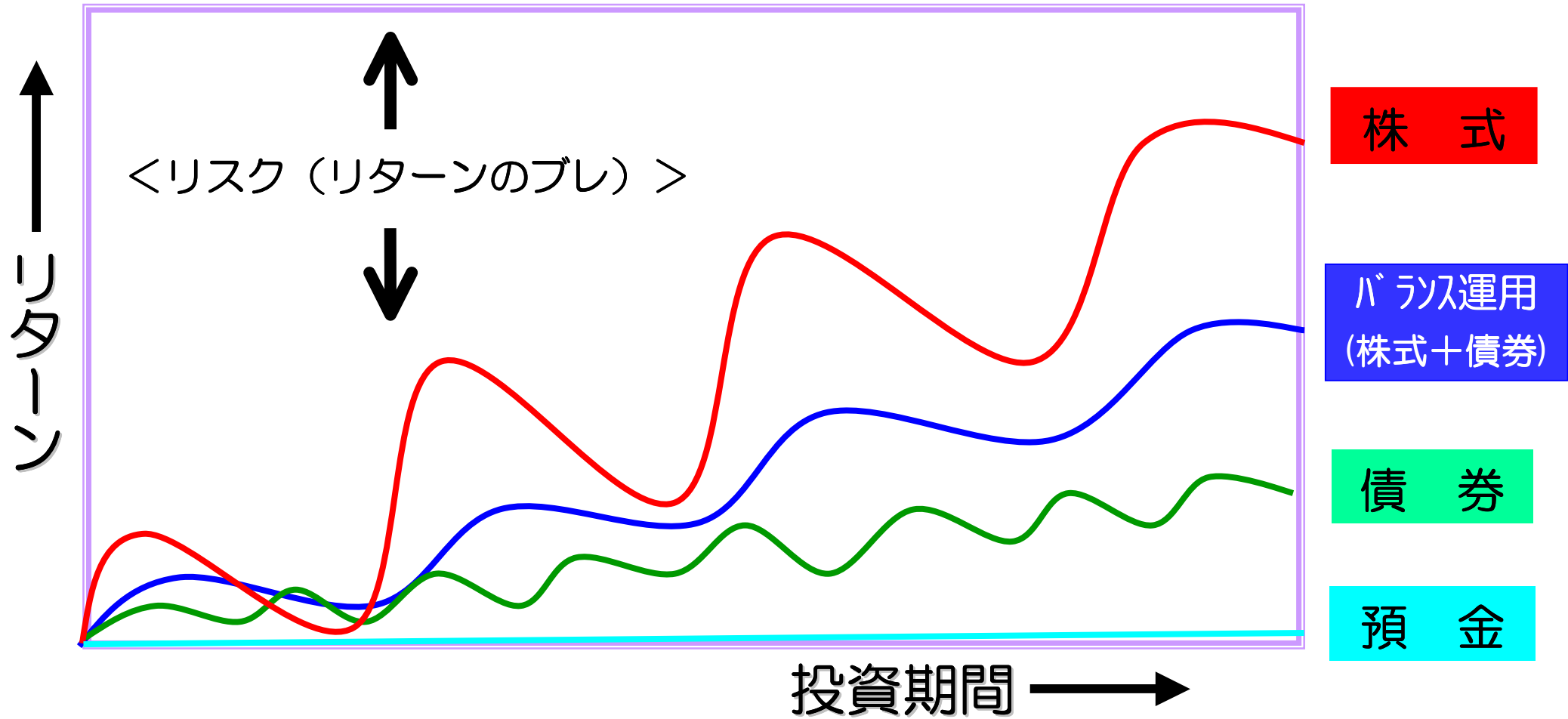


値動きの相関性が低い投資対象を組み合わせることで  
リターンは平均化しますが、  
リスクが分散されて平均値より小さくなることが知られています。投資資金全体のリスク(リターンのブレ)を抑制し、運用効率の向上を目指す運用手法が「分散投資」です。

(注)上記の図は証券投資におけるリスクの概念と分散投資効果の理解を深める目的で作成されたイメージ図です。

## 9. 分散投資効果のしくみ(2)

### 【株式と債券を組み合わせた「バランス運用」】

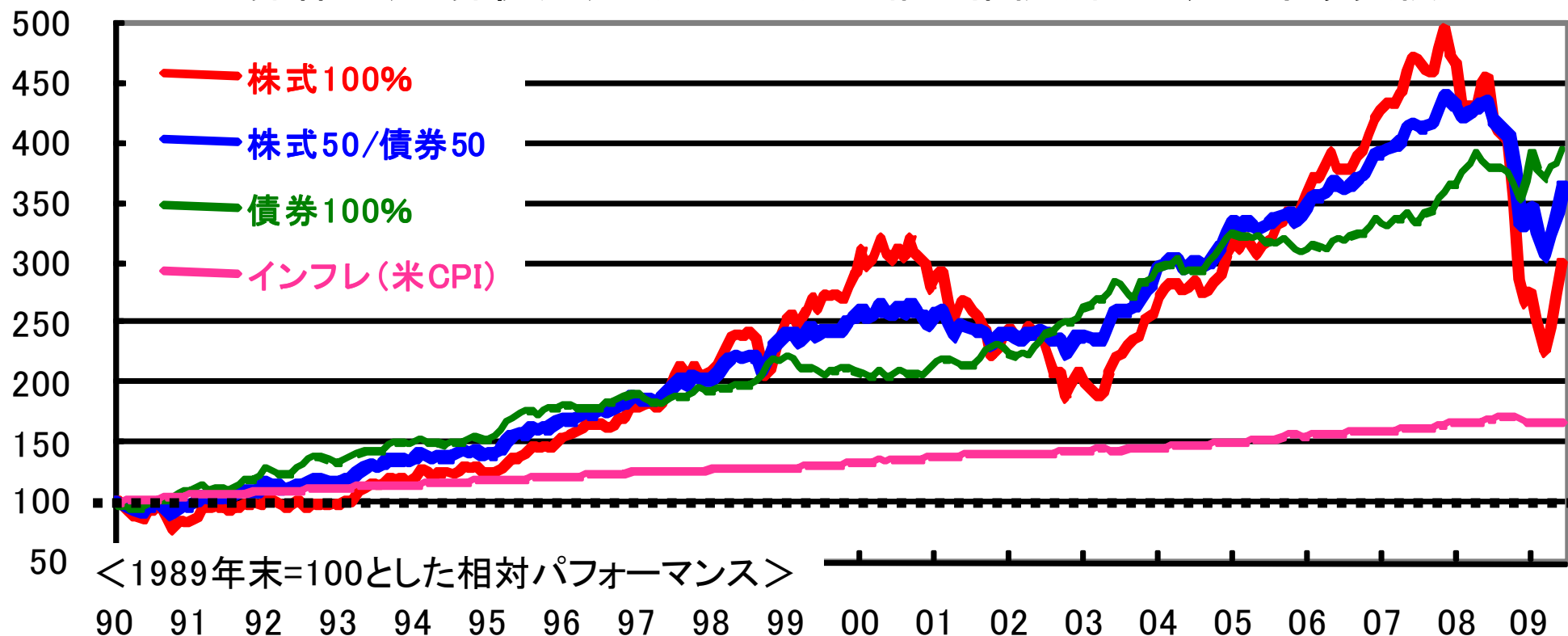


(注)上記は投資対象のリターンとリスクの度合いについて理解を深めるため作成したイメージ図です。

# 10. 分散投資効果のしくみ(3)

## 【長期市場実績から振り返るリスク分散効果】

世界株式、世界債券、バランス運用の相対推移(米ドル建て市場実績)



(注) 株式=S&P Developed BMI Index、債券=J.P.Morgan Global Aggregate Bond Index US\$ Unhedged、  
「バランス運用」=株式×50%+債券×50%(均等分散投資のドル建てシミュレーション)、インフレ=米・消費者物価指数  
※ 上記は過去の市場実績であり、将来のいかなる投資成果も保証するものではありません。 (出所:労働省/Bloomberg)

## 11. 分散投資効果のしくみ(4)

### 各資産クラス間の相関係数(長期市場実績):

94年～09年	日本株式	世界株式	世界債券	世界REIT	金	ヘッジファンド
日本株式	1.00	0.64	-0.10	0.39	0.14	0.45
世界株式	0.64	1.00	0.16	0.68	0.09	0.58
世界債券	-0.10	0.16	1.00	0.32	0.39	-0.00
世界REIT	0.39	0.68	0.32	1.00	0.20	0.38
金	0.14	0.09	0.39	0.20	1.00	0.15
ヘッジファンド	0.45	0.58	-0.00	0.38	0.15	1.00

(注1)「相関係数」とは2つの確率変数の間の相関性(類似性の度合い)の強さを示す統計的指標である。相関係数がプラスの場合は「正相関」、マイナスの場合は「逆相関」と言われる。その値が1.0に近い場合は相関性が高く、0に近い場合は相関性が低くなるが、一般的な基準として0.7以上であれば「強い相関」、0.4～0.7であれば「中程度の相関」、0.2～0.4なら「弱い相関」と判断され、0.2以下なら「ほとんど無相関」として認識することが可能。投資の世界では長期に亘る実績において相関係数が低い資産クラスを組み合わせることで、長期的視野に立った分散投資効果(リスク分散効果)を期待することができる。とされている。

(注2)日本株式=TOPIX(東証株価指数)、世界株式=S&P Developed BMI Index、世界債券=J.P.Morgan Global Aggregate Bond Index US\$ Unhedged、世界REIT=UBS Global REIT Investors Total Return Index、金=NY金スポット価格、ヘッジファンド=CSFB/Tremont Hedge Fund Index (TOPIXを除き全て米ドル建て)

※ 上記は過去の市場実績であり、将来のいかなる投資成果も保証するものではありません。

(出所: Bloomberg)

## 12. グローバル分散投資の例(長期市場実績-1)

### 【暦年市場実績による長期分散投資効果の検証】

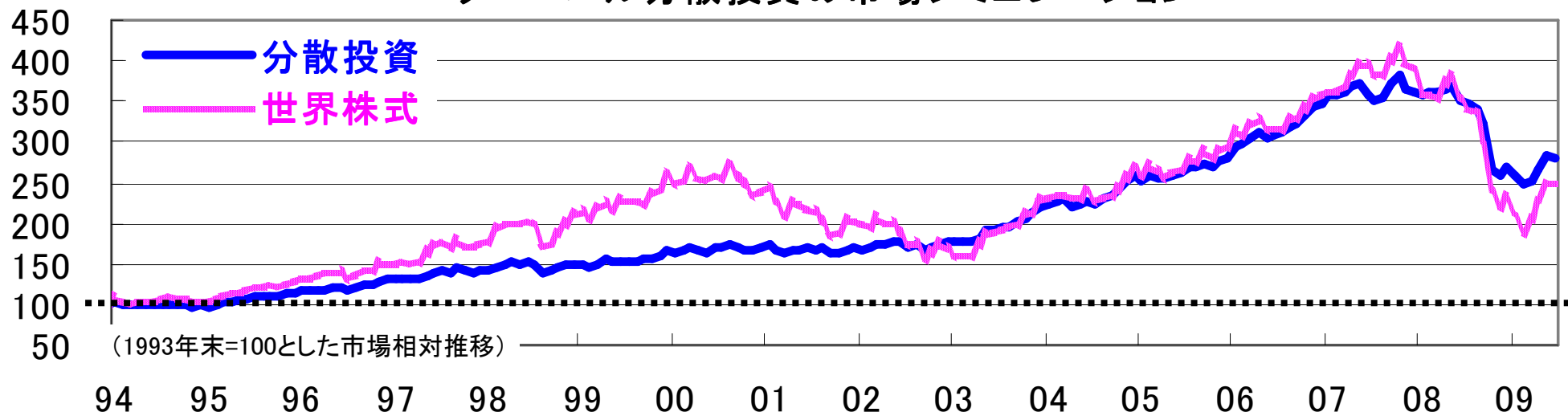
資産クラス別 暦年リターン	日本株式	世界株式	世界債券	世界REIT	金	ヘッジファンド	為替差損	分散投資	分散投資	投資元本を100として	
	(円建て)	(米ドル建て)	(米ドル建て)	(米ドル建て)	(米ドル建て)	(米ドル建て)	(円/米ドル)	(米ドル建て)	(円建て)	(米ドル建て)	(円建て)
1999年	58.4%	24.1%	-6.2%	-1.2%	-0.1%	23.4%	-9.8%	8.0%	-1.8%	108.0	98.2
2000年	-25.5%	-8.0%	4.7%	22.0%	-5.5%	4.8%	11.6%	3.6%	15.2%	111.9	113.2
2001年	-19.6%	-15.1%	2.6%	5.9%	2.5%	4.4%	15.1%	0.1%	15.1%	112.0	130.3
2002年	-18.3%	-18.3%	17.3%	10.6%	24.8%	3.0%	-9.8%	7.5%	-2.3%	120.4	127.4
2003年	23.8%	36.3%	12.8%	40.0%	19.4%	15.4%	-9.7%	24.8%	15.0%	150.2	146.5
2004年	10.2%	16.9%	9.7%	37.8%	5.5%	9.6%	-4.3%	15.9%	11.6%	174.1	163.5
2005年	43.5%	11.7%	-4.4%	11.5%	17.9%	7.6%	14.7%	8.9%	23.6%	189.5	202.1
2006年	1.9%	20.6%	6.8%	42.7%	23.2%	13.9%	1.1%	21.4%	22.5%	230.1	247.7
2007年	-12.2%	9.4%	9.7%	-13.5%	31.0%	12.6%	-6.1%	9.8%	3.7%	252.7	256.8
2008年	-41.8%	-41.1%	7.2%	-45.9%	5.8%	-19.1%	-18.9%	-18.6%	-37.5%	205.7	160.5
暦年平均	2.0%	3.7%	6.0%	11.0%	12.4%	7.6%	-1.6%	8.1%	6.5%	2009年最新値	
09年初来	8.0%	15.5%	2.5%	3.2%	8.5%	7.2%	4.9%	7.4%	12.3%	220.9	180.3

(注) 日本株式=TOPIX、世界株式=S&P Developed BMI Index、世界債券=J.P.Morgan Global Aggregate Bond Index US\$ Unhedged、  
 世界REIT=UBS Global REIT Investors Index Total Return、ヘッジファンド=CSFB/Tremont Hedge Fund Index (TOPIXを除き全て米ドル建て)、  
 「分散投資」=世界株式、世界債券、世界REIT、金、ヘッジファンドへの均等分散投資シミュレーション(暦年ごとのリバランスを想定)  
 ※ 上記は過去の市場実績であり、将来のいかなる投資成果も保証するものではありません。 (出所: Bloomberg)

# 13. グローバル分散投資の例(長期市場実績-2)

## 【投資効率指標(リターン÷リスク)による検証】

グローバル分散投資の市場シミュレーション



### 長期市場実績にもとづくR/R分析

1994-2009	日本株式	世界株式	世界債券	世界REIT	金	ヘッジファンド	分散投資
リターン(年率)	-1.2%	7.1%	6.4%	8.3%	6.7%	8.9%	7.5%
リスク(年率)	17.9%	15.5%	6.0%	17.4%	15.0%	7.9%	8.6%
R÷R	-0.07	0.46	1.07	0.48	0.45	1.13	0.87

(注) 日本株式=TOPIX、世界株式=S&P Developed BMI Index、世界債券=J.P.Morgan Global Aggregate Bond Index US\$ Unhedged、世界REIT=UBS Global REIT Investors Index Total Return、金=NY金スポット価格、ヘッジファンド=CSFB/Tremont Hedge Fund Index、「分散投資」=世界株式、世界債券、世界REIT、金、ヘッジファンドへの均等分散投資を想定したシミュレーション(米ドル建て)、リターン=月間騰落率をもとに計算した年率収益率、リスク=リターンの年率標準偏差、「R÷R(投資効率指標)」=リターン÷リスク

※ 上記は過去の市場実績であり、将来のいかなる投資成果も保証するものではありません。

(出所: Bloomberg)

## 14. 海外の専門家による資産配分(例)

### 【海外大手年金基金のアセットアロケーション】

CalPERS(カルパース:カリフォルニア職員退職年金基金)の資産運用配分

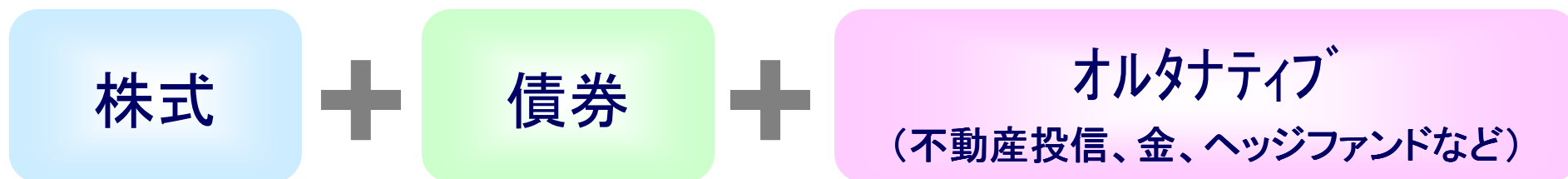
資産クラス		運用総額(億ドル)	直近配分*	目標配分**
株式	世界株式	756	42.9%	49.0%
	AIM(オルタナティブ)	207	11.7%	14.0%
	株式総計	963	54.6%	63.0%
債券	世界債券	432	24.5%	20.0%
	債券総計	432	24.5%	20.0%
不動産関連		195	11.1%	10.0%
インフレ連動証券		43	2.4%	5.0%
現預金(キャッシュ)		129	7.3%	2.0%
総運用総額		1,761	100.0%	100.0%

(注\*:2009年4月末現在、注\*\*:目標配分は09年6月まで有効)

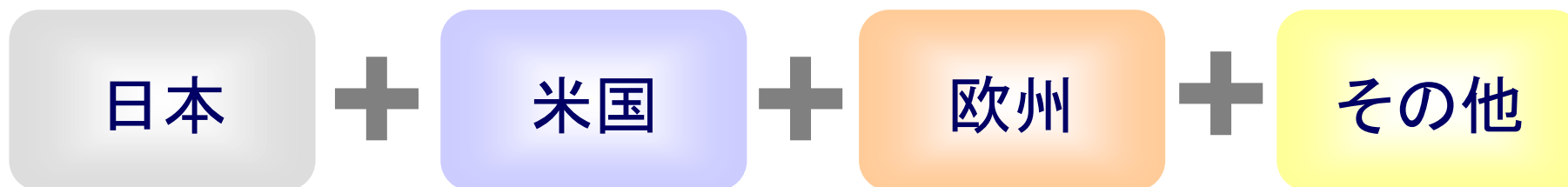
(出所:FACTS AT A GLANCE: INVESTMENT-July 2009/CalPERS)

## 【資産クラスの種類と地域の分散】

### ■「資産クラスの分散」(値動きが異なりそうな投資対象への分散)



### ■「グローバル(国際)分散」(世界中の異なる国や地域への分散投資)



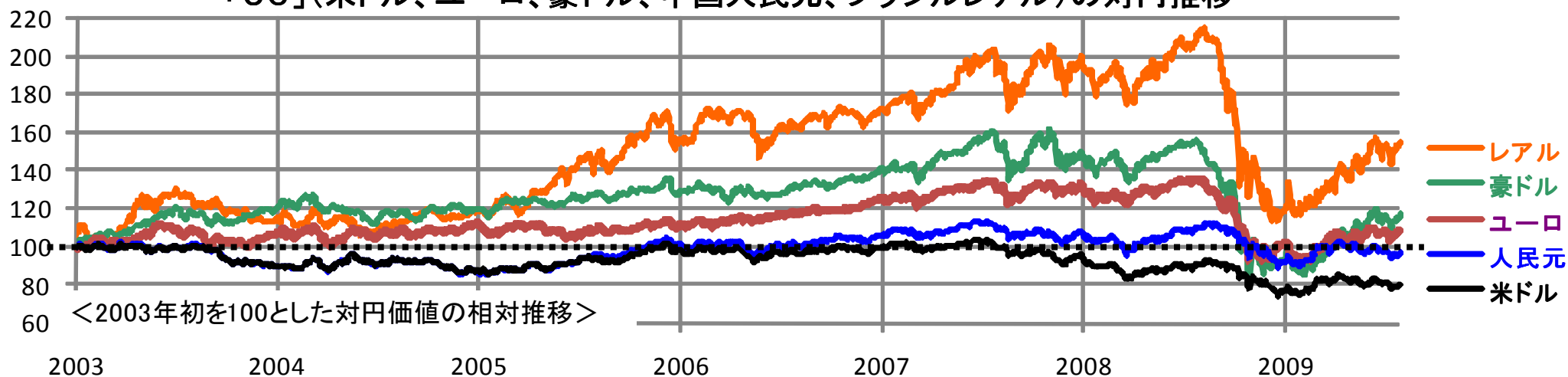
### ■「為替リスク分散」(グローバル分散の副次的効果として期待可能)



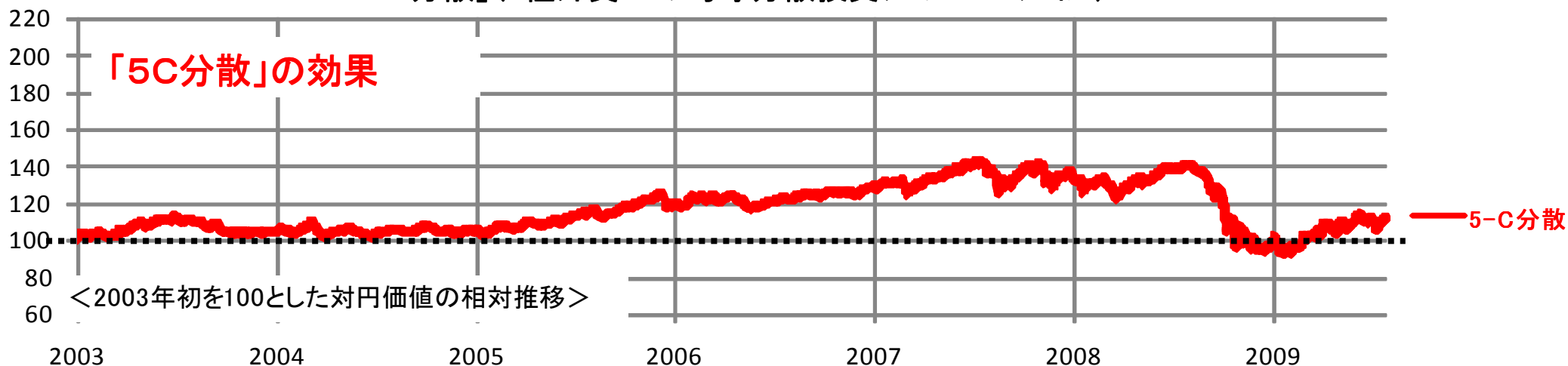
# 16. グローバル分散投資による為替リスク抑制

## 【為替リスクの分散効果(参考例)】

### 「5C」(米ドル、ユーロ、豪ドル、中国人民元、ブラジルレアル)の対円推移



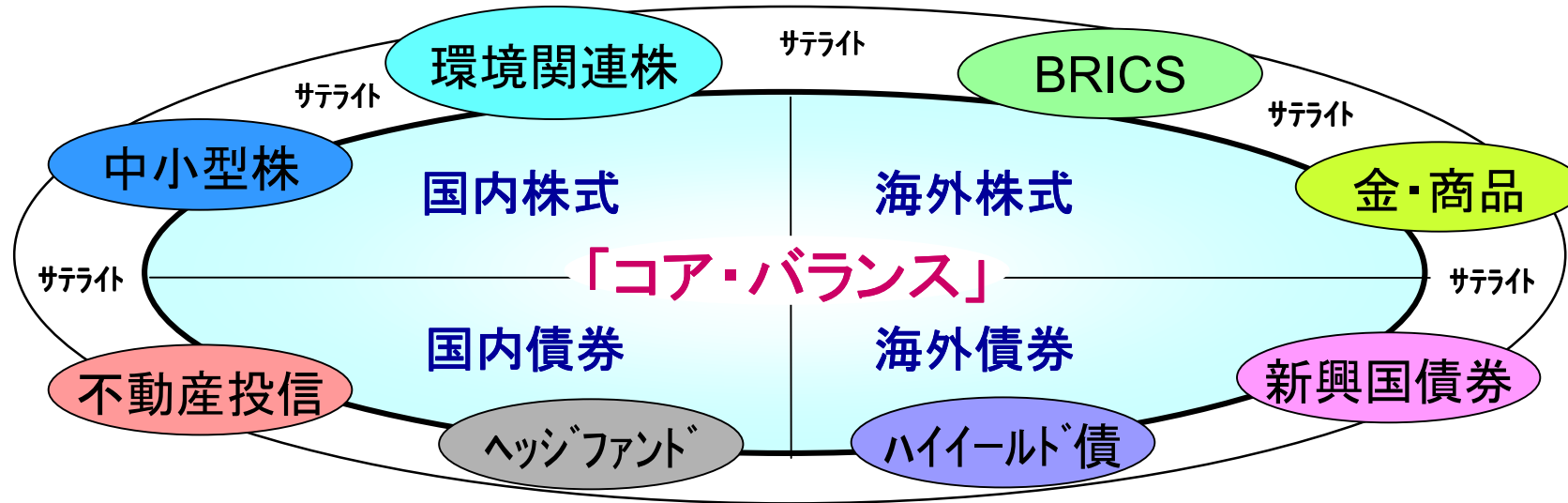
### 「5C分散」(5種外貨への均等分散投資シミュレーション)



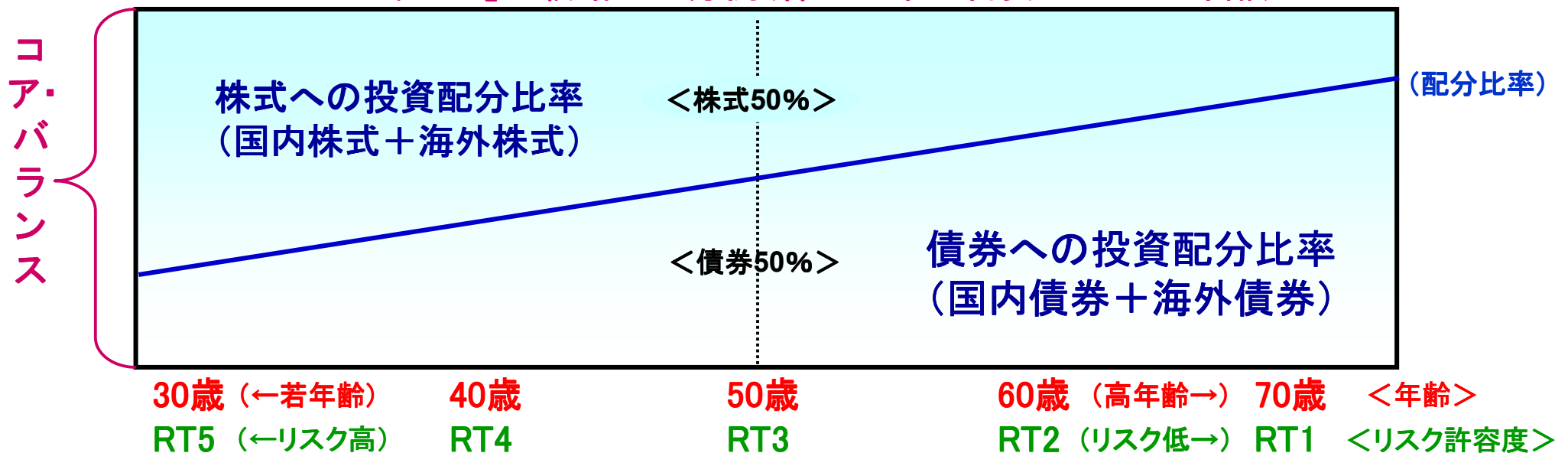
(注) 上記は過去の市場実績例であり、将来のいかなる投資成果も保証するものではありません。

(出所: Bloomberg)

# 17. 個人投資家のための「コア・サテライト戦略」



「コア・バランス」の戦略的配分例(株式比率の目安=100-年齢)



(注) 上記は参考情報の提供を目的として作成したイメージ図であり、将来のいかなる投資成果も保証しません。

## 【本資料の免責事項・注意事項】

本情報は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。

過去の実績は必ずしも将来の成果を示唆するものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。本情報は、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。万一、本情報に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。

本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。

本案内に記載のセミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。これらの商品等へのご投資には、各商品等に所定の手数料等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客様向け資料をよくお読みください。

# SBI証券

商号等：株式会社SBI証券（金融商品取引業者）

登録番号：関東財務局長（金商）第44号

加入協会：日本証券業協会、（社）金融先物取引業協会